

令和4年度 第1回保健福祉政策審議会

1. 日時：令和4年11月10日（木）14：00～15：30
 2. 場所：勤労者福祉センター4階 大会議室
 3. 議題：「岡山市地域共生社会推進計画（地域福祉計画）」の進捗状況について
- 在宅医療の中核となる訪問診療医が偏在する中、市中心部と中山間地域でどう連携していくかが、今後ますます重要になる。
- 在宅医療を支える多職種連携のためのICTツールは、コロナ禍においても将来においても、重要であり今後も進めていってほしい。
- 医療的ケア児のかかりつけ医について、基幹病院からクリニックにどのようにつなげていくか。いざという時に入院ができるという安心感を持てるように、クリニックとバックアップする病院というセットがよいと考える。
- 重層的支援体制整備事業について、困難なケースでは色々な人が関わられるようになるので、新たな支援体制について周知を進めてほしい。
- 地域共生社会推進計画は保健・医療・福祉施策の基本となる上位計画であり、保健福祉局以外が作る計画の中でも、その考え方を活かし、市内部での連携を進めてほしい。
- 生涯活躍就労支援事業について、高齢者を仕事に結びつけるのは効果的な取り組みだ。市民や専門職、特にケアマネジャーに対して周知を進めていただきたい。
- 生涯活躍就労支援事業は、高齢者が増える中で重要な施策になる。周知方法を工夫して進めてほしい。
- 障害者一般就労支援事業について、就職率のみならず就職後の定着率も重要。
- 介護施設は人材不足で悩んでいる。介護職では無資格でもできる仕事があるので、就労先として周知してほしい。
- 多分野協働による地域課題解決活動創出支援について、地域の関係が希薄になっており、マンションだけでなく、地域のコミュニティづくりへの支援を進めてほしい。